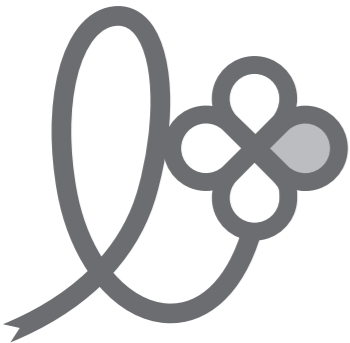


前立腺がんの「早期発見・適切治療」を推進します。



パパの明日を、まもりたい。

中高年男性に多く見られる前立腺がんは日本でも近年罹患率が急増し、2020年には罹患者数が肺がんに次ぐ第2位になると予測されています。しかし、早く発見できれば効果的な治療が多く、治りやすいがんでもあります。前立腺がんを命を落とす人を一人でも減らしたい。そんな願いを込めて、ブルークローバー・キャンペーンは、今年も前立腺がんの「早期発見・適切治療」の大切さを伝える活動を展開しました。

早く見つける、それが第一歩。

50歳を過ぎたらPSA検査を

前立腺がんを早期のうちに発見するには検診が重要です。
男性は50歳を過ぎたら、「PSA検査」を1年に1回、受けることをお勧めします。
「お父さん世代」の健康を守るため、周りにいるご家族からも勧めてください。

*PSA検査とは、採血だけでできる前立腺がんのスクリーニング法です（PSAとは「前立腺特異抗原」のこと）。
人間ドックや地域の住民検診などの際に希望すれば、通常の血液検査とあわせて受けることができます。



ブルークローバー・キャンペーンに寄せて 鳥越俊太郎

私は2005年10月大腸がんの手術をしました。がん、というのは厄介なもので、その手術だけじゃ終わりにじゃないんですね。大腸がんの原発巣から知らぬ間に肺に転移して左の肺に2カ所の転移がありました。もちろん、そんなもの摘出すればそれでお仕舞なんですけど、右の肺にもあると医師に言われ、結局右の肺も胸腔鏡下手術をやりました。

結果はシロ、良性の腫瘍でしたが、大腸がんから始まって合計3回も身体にメスを入れてしまいました。私の場合はがんのステージは4期でした。原発から遠隔転移が発見された時点で4期と呼ばれるんですね。しかも大腸がん4期の5年生存率は20~25%だと専門家の先生は言うんですから、私もまだまだがんとの戦いは続けていきそうです。

これもすべてががん検診をもっと早くやっていた、がんを見つけていればもっと簡単だったはず。前立腺がんも同じでしょう。検診は愛——早く検診に行きましょう!!

ブルークローバー・キャンペーン2008
メインサポーター：
鳥越俊太郎さん・鳥越さやかさん

活動1 父の日スペシャルイベント 2008.6.12

「知ってください前立腺がんのこと」 トークショーと歌声で 呼びかけ

「父の日」を前にした6月12日、東京の丸ビルでトークショー&コンサートを開催しました。

トークショーでは、専門医の群馬大学泌尿器科准教授・伊藤一人先生（写真上・左）が前立腺がんについて解説。「三波春夫PSAネットワーク」元代表の八島美夕紀さん（同右）が、「奥さんや娘さんからも検診を勧めて」と訴えました。

続くコンサートでは、今年のキャンペーン・メインサポーターの鳥越俊太郎さんと娘のシャンソン歌手・鳥越さやかさんが登場し、「愛の讃歌」やオリジナル曲を仲良く披露しました。

さらに乳がん闘病を公表した山田邦子さ



んが団長を務める「スター混声合唱団」の皆さんも加わって、集まった多くの聴衆の皆さんに「がんに負けない!!」との力強いメッセージを贈りました。

活動3 ブルークローバー・シンポジウム 2008.9.15

まずは知ることから始めよう 前立腺がんの検診と治療について



9月は「がん征月間」。専門の医師の方々の講演を中心に、前立腺がんへの理解を深めようと、シンポジウムを大阪で開催しました。

三重大学教授の白石泰三先生は病理学が専門。顕微鏡で見つかるごく小さながんの段階でも前立腺がんが増えていることを紹介して、検診の重要性を説明。また、前立腺がんの「がん細胞から悪性度が判定でき、治療法選択のカギになることも解説されました。

香川大学泌尿器科教授の眞善行先生は、前立腺がんのリスクの度合

いや年齢に応じて手術、放射線治療、ホルモン療法、待機療法など、様々な選択肢があることを概説。メリットや副作用などのデメリットを踏まえ、患者さんの価値観に合わせて選んでほしいと強調しました。

さらに、前立腺がんを経験した患者さんにも今回、参加していただきました。兵庫県在住の武内務さんはインターネットを活用して、自分に最適な治療法にたどり着くまでの経緯を、納得のいく治療を受けるための参考に、と披露しました。ゲストの女優・三林京子さんも、自分の希望を勇気を出して医師にも伝えましようと言いました。



活動2 おやじバンドフェスティバル 2008.5~8月

40歳以上のアマチュアバンドが参加する「おやじバンドフェスティバル」（日刊スポーツ新聞社など主催）に特別協力しました。

全国6地区での予選大会には約600ものバンドが参加。勝ち抜いた6バンドが8月7日に東京・明治神宮外苑軟式球場で開催された決勝大会に出場し、パワーあふれる演奏を聞かせました。

当日は神宮外苑花火大会の日でもあり、集まった大勢の観客に向けて、メッセージビデオを上映したり、啓発パンフレットやうちわを配布したりしてキャンペーンへの関心を高めました。



演奏後は、大会の審査員であり、キャンペーンのサポーターを務める岸田一郎さん（写真右）が特別ゲストとして登場。キャンペーンをきっかけに毎年PSA検査を受けていると話し、検査を受ける大切さをアピールしました。

活動4 日本スリーデーマーチ 2008.11.1~3

埼玉県東松山市を中心に、11月1~3日に開催された国内最大のウォーキング大会「第31回日本スリーデーマーチ」（日本ウォーキング協会、埼玉県、朝日新聞社など主催）。3日間で延べ約8万3千人が参加したこの大会でも啓発活動を展開しました。

前立腺がんの正しい知識を紹介するパンフレットやピンバッジを配布したほか、群馬大学准教授の伊藤一人先生と勅使川原郁恵さん（ウォーキング親善大使、スケート・ショ



ートトラック元五輪代表）のトークショーも開催しました。ウォーキングを終えたすがすがしい顔の参加者たちも高い関心を寄せていました。

ブルークローバー・キャンペーン運営委員会
主催 財団法人日本対がん協会、社団法人日本ウォーキング協会、TOKYO FM
NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、日刊スポーツ新聞社、朝日新聞社

後援 社団法人日本泌尿器科学会、日本人間ドック学会
日本放射線腫瘍学会、財団法人前立腺研究財団
日本腎臓病学会、日本腎臓病学会

特別協賛 アストラゼネカ株式会社
協賛 日本メジフィジクス株式会社、ベックマン・コールター株式会社
ジーエヌサウンドジャパン株式会社
協力 テレビ朝日

ブルークローバー・キャンペーン事務局
朝日新聞社事業本社内
TEL: 03-5540-7665
ホームページ: <http://www.asahi.com/blueclover/>